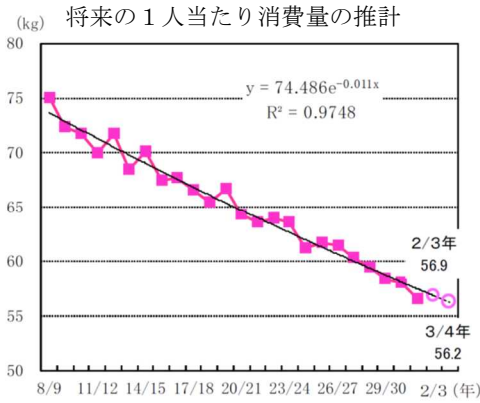


令和3年産主食用米の生産目安 参考情報

兵庫県農業活性化協議会作成

1 全国の米の需要動向(令和2年11月「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」より)

平成20年をピークに人口が減少局面に入ったことを踏まえ、より実情に即した需要見通しを算出する観点から、平成30年産から1人当たり消費量(推計値)に人口(推計値)を乗じて算出されています。



将来の1人当たり消費量(推計値)に人口(推計値)を乗じて需要見通しを算出

| | | |
|-----------------|-----------|-----------|
| | 2/3年 | 3/4年 |
| 1人当たり消費量(推計値) ① | 56.9kg | 56.2kg |
| | 2年 | 3年 |
| 人口(推計値) ② | 125,880千人 | 125,389千人 |
| | 2/3年 | 3/4年 |
| 需要見通し ①×② | 715.8万トン | 705.3万トン |

2 全国の令和3/4年の需給見通し(令和2年11月「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」より)

令和3/4年主食用米等需要量は705万トンと見通され、令和3年産主食用米等生産量は、令和4年6月末民間在庫量が200万トンを超えない水準となるよう、693万トンに設定されました。これは令和2年産主食用米等生産量実績の723万トンから30万トン少ない値です。

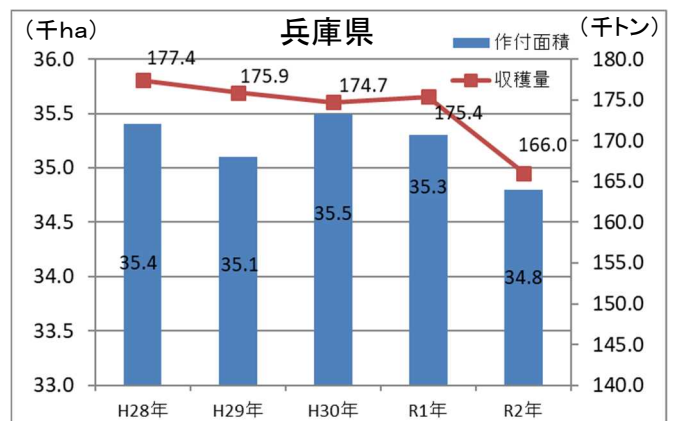
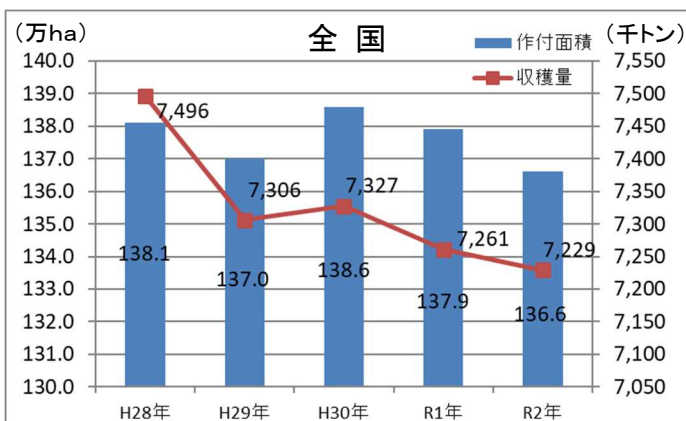
(単位: 万トン)

| | | | | |
|--------|---------------------------|---|----------------------|--|
| 令和3/4年 | 令和3年6月末民間在庫量 | E | 207~212 [※] | 207~212 [※] |
| | 令和3年産主食用米等生産量 | F | 693 | 692 [※] <small>(過去最大の作付削減面積と同規模の面積を削減した場合の参考値)</small> |
| | 令和3/4年主食用米等供給量計 G = E + F | | 900~905 [※] | 899~904 [※] |
| | 令和3/4年主食用米等需要量 | H | 705 | 705 |
| | 令和4年6月末民間在庫量 I = G - H | | 195~200 [※] | 194~199 [※] |

※新型コロナウイルス感染症の影響等の特別な要因による需要減少量を5万トンと推計し、各数値は幅をもって算定されている

3 水稻の作付状況の推移(全国と兵庫県の比較)

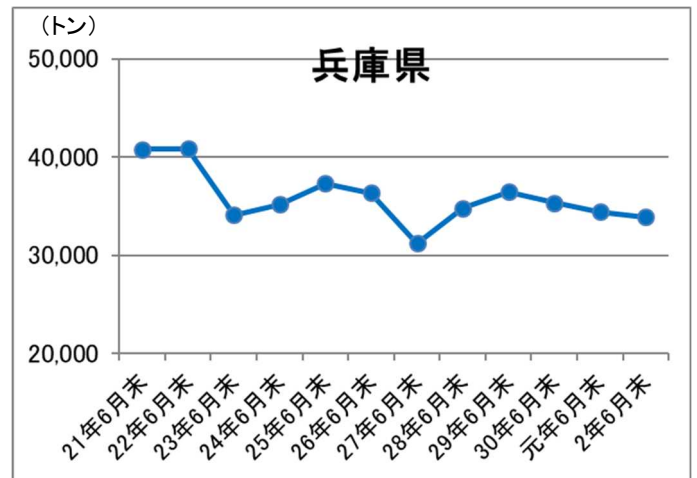
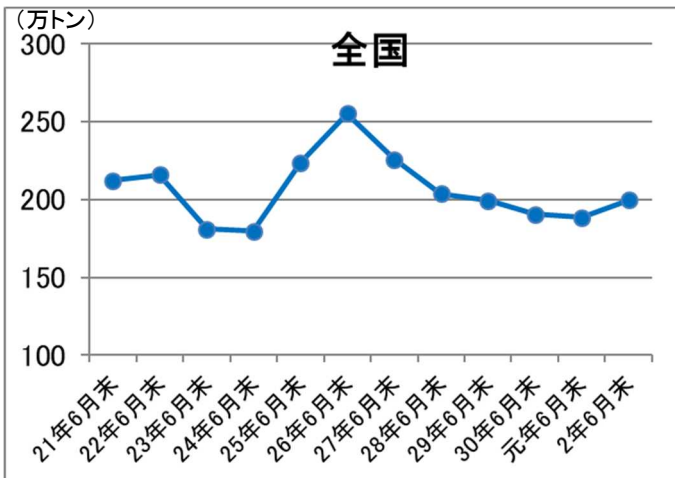
令和2年産の水稻(主食用米)の作付面積は、全国、兵庫県ともに前年から減少しました。収穫量については、全国では東海以西のヒョウunka、台風等の気象の影響から、兵庫県では出穂後の高夜温のほか、北部で7月の日照不足、南部でヒョウunka等の影響から、前年よりも減少しました。



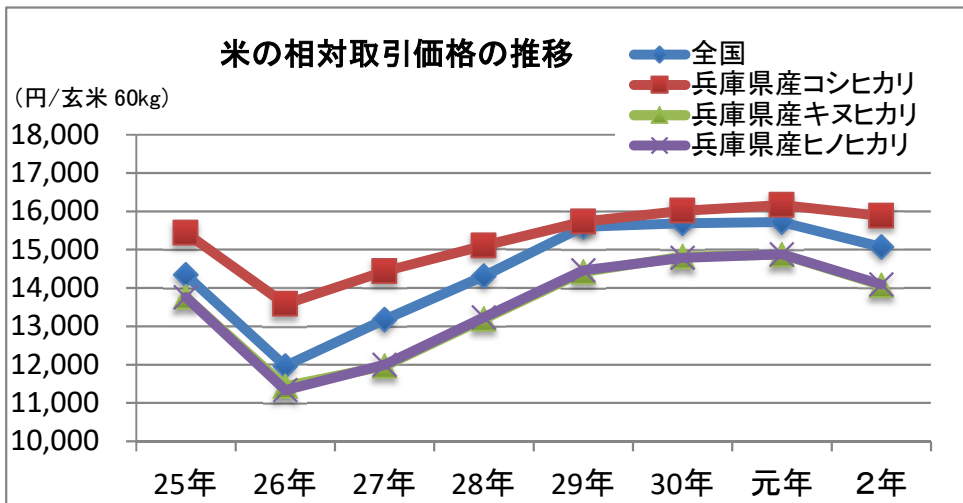
【出典: 水稻の作付面積及び予想収穫量(10月15日現在)より】

4 米の在庫状況(令和2年11月「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」より)

- 全国段階の在庫については、近年は横ばい傾向でしたが、R2年6月末時点では微増したものの、国が安定供給を確保できる水準とする200万トンとなっています。
- 兵庫県の在庫については、毎年概ね3万トン～4万トンの間で推移しています。



5 米の価格動向(全銘柄平均と県産米との出荷業者と卸売業者との間での相対取引価格の比較)

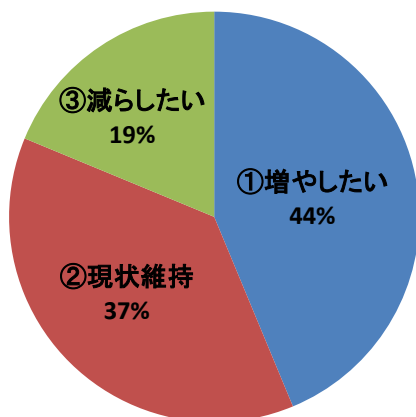


平成26年産以降、米価は上昇傾向で推移していましたが、令和2年産については全国・兵庫県ともに、令和元年産より下がっています。

※ 2年産の価格は、出回り～2年10月の平均価格。

【出典：米に関するマンスリーレポート11月号(農林水産省作成・公表)】

6 兵庫県産米への需要



県内の卸売業者、集荷業者27社を対象とした兵庫県農業活性化協議会の調査では、回答(16社)の約8割が、兵庫県産米の取扱量を維持・増やしたい意向を持っています。

◇兵庫県農業活性化協議会では、令和3年産米の作付判断の参考としていただけるよう、主食用米の生産目安と併せて、米の生産をめぐる国・県の情報を提供しております。地域の関係者や生産者の皆様には、これらの情勢を注視しながら、最寄りのJAや集荷業者等と早めにご相談いただき、売り先・行き先を確保した米の生産に取り組んでいただきますようお願いいたします。